



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム RI.D2590ガバナー／高良 明 横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F／〒241-0821

TEL.045-365-3273／FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2016年8月24日 第2256回例会 VOL. 48 No. 7

■司 会 副SAA 内田 敏

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■斉 唱 手に手つないで

■出席報告

会 員 数	31 名	本日の出席数	24 名
本日の出席率	96%	修正出席率	92.59%

■本日の欠席者

後藤

■他クラブ出席者

滝澤、増田（地区）

■ゲスト

浦崎 真仁様、石井 健二様

(旭区福祉保険センター子ども家庭支援課)

■皆出席者表彰



二宮麻理子会員 3年

佐藤 利明会員 2年

関口 友宏会員 42年

鈴木 茂之会員 3年

田川 富男会員 4年

■会長報告

お盆休み皆様はいかがお過ごしでしたか？
オリンピックも無事終了しました。ラグビーでは、ニュージーランドに初めての勝利等色々ありました、一番は400メートルリレーでの銀メダルには感激しました。高校野球もおもしろくテレビ観戦しました。

13日、小学校の同窓会をやるとのことで、島根県へ行ってまいりました。広島で前泊し、お好み焼きを食べることにし、地元の人に聞いたところ、堀川にある「へんくつや」が元祖で美味しいと紹介され、行ったところがお休みでした。お好み焼き屋街があり、近くのお好み焼き屋に入りましたら、向いの店が「へんくつや」とありました。店の人に聞くとここも「へんくつや」だよ。なんと「へんくつや」は8件もあるそうです。翌日レンタカーで島根まで140km寂しい道をいきました。同窓会には当時担任でした15歳年上の女先生が来られました。同級生の女性と15歳年上の女先生とどっちが年上か解らないくらい結構な年をとっていました。若さをたもっているのは私だけだと勝手に思っていました。

昨日は職業奉仕委員会があり、滝澤委員長が出席されました。ご苦労様でした。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のおしらせ

○横浜本牧ロータリークラブ

日時 10月20日(木)→20日(木)～21日(金)

移動例会

場所 箱根湯元ホテルおかだ

2) 国際青少年交換留学生受入に伴う支援のお願い

当クラブからも一人3,000円の援助を致します。

3) 熊本地震・東日本大震災チャリティー会員家族ディナーパーティー

日時 10月5日(水)午後6時開宴

場所 横浜ロイヤルパークホテル「鳳翔」

参加費 一人20,000円

4) ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会

日時 10月18日(火)

場所 よみうりゴルフ倶楽部

5) R財団100年記念シンポジウム

日時 11月27日(日)午後1時30分～

場所 東京JPタワー・KITTEビル4階

*日本ロータリー財団100周年記念行事

当日はジャームRI会長が来賓出席致します。

6) 地区ローターアクト代表岡山奈央様より

広報誌をいただきましたので会員皆様に配布しました。地区RAがロータリアンの活動へのご理解をいただこうと作成されたものです。

7) 横浜東ロータリークラブ例会のご案内

日時 9月6日(火)午後8時～9時30分

場所 ホテルキャメロットジャパン

内容 専門知識開発委員会

「アカペラの良さを知ろう」

8) 当クラブ 来週は夜間例会です!

日時 8月31日(水) 点鐘午後6時

場所 仕立屋 会費 2,000円

■旭区子ども家庭支援課

浦崎 真仁、石井 健二様

「ひきこもりなど困難を抱える若者の中間的就労実践セミナー」の開催について

1) 趣旨



左:石井様 右:浦崎様

旭区では、ひきこもりなどの困難を抱える若者を支援するため、短時間や週1回からの就労など、個々の事情に合わせた就労(中間的就労)を広めていきたいと考えていますが、若者を受け入れる法人の皆様の中には、様々な心配や不安により受入を躊躇されていることが考えられます。そこで今回、中間的就労の受入実績のある法人等から、受入の進め方や工夫点、メリットなどを分かりやすく説明していただくためのセミナーを開催致します。

若者の支援にご関心のある法人の皆様や市民の皆様にご参加いただき、活動の参考として頂きたいと考えています。

2) セミナーの概要

表題:ひきこもりなど困難を抱える若者の中間的就労実践セミナー

開催日:9月21日(水)午後1時30分～

場所:旭公会堂講堂(旭区役所4F)

旭区鶴ヶ峰1-4-12

対象者:若者の支援にご関心のある法人の担当者及び市民の方(講演内容は支援者向けですが、どなたでも参加できます)

定員等:400名(無料)事前申込みが必要です。申込書に記載の上、区役所にお送り願います。

内容:

第1部 午後1時30分～3時

○行政の取組 説明者横浜市

○事例発表

①ユニバーサル就労(中間的就労)

支援付就労の実践と課題

講演者社会福祉法人生活クラブ

風の村理事長 池田 徹氏

第2部 3時10分～4時25分

○困難を抱える若者の現状

○事例発表

②誰もができる就労困難者の雇用創造

■クラブ職業奉仕委員長会議 滝澤 亮

日時 8月23日(火)午後3時～5時30分

場所 メモワールプラザソシア 21

○会議概要

当地区で平成14年から取り組んでいる横浜市・川崎市教職員夏季短期企業研修について、横浜市教育委員会の松原課長にその目的と意義についてお話し頂きました。

また実際に今回ユースキン製菓株式会社で研修を受けられた、横浜市立盲特別支援学校の新島副校長に感想をお話いただきました。

高良ガバナーより「職業奉仕のあり方」について講話を頂き、ガバナーの講話も参考に、出席者ご自身の企業を念頭にして「企業の持続性」についてディスカッションをして頂き、それぞれの経営に役立ててほしいとのことでした。

■社会奉仕委員会 二宮麻理子

日時 9月7日(水)

例会終了後に委員会を開催致します。

■ロータリーの友紹介8月号 二宮麻理子

○横組み

P 3. RI 会長メッセージ

40年前と今とではロータリーの事情が変わってきている。

① 会社は時間に関して寛大でなくなる。

② 社会奉仕への参加を好意的に見てくれなくなる。

仕事とロータリー両立が難しくなってきた。最近の規定審議会でクラブの例会時間に柔軟性をもたせ、入会候補者の幅を広げること認める決定がなされた。(会員のニーズに答え、会員増強の障壁を取り払うためクラブの柔軟性が増したため。)

会員を増強するために「ロータリーへの誘い」が重要である。

*「あなたは地域社会をよりよくするためのスキル、才能、人格をお持ちです。私たちと一緒に地域社会で活動していただけますか」

と誘うこと。

P 8. 「ロータリー財団」の歴史について

P18. ロータリーについて知らない人が大勢います。ロータリーとは、他の団体との違い等についての紹介

○縦組み

P21. 懸賞のない取り組み好勝負

吉原 則光会員

■研修委員会報告

安藤 公一

日時 8月15日(月)午後6時～8時30分

場所 嵯峨野

参加者 斎藤善孝、滝沢、増田、安藤公一

9月の月間テーマ

「基本教育と識字率向上」について

本テーマは、R財団のグローバル補助金の6つの重点分野の一つとして取り上げられています。6つの重点分野とは、

①平和と戦争予防／紛争解決②疾病予防と治療③水と衛生④母子の健康⑤基本的教育と識字率向上⑥経済と地域社会の発展

2590 地区補助金申請ハンドブック(2016年7月版)によると

・基本的教育と識字能力をすべての人々に与える地域社会の力を高めるプログラムを支援し、地域社会の参加の促進

・地域社会における成人の識字率の向上

・教育における男女格差を減らすための活動

・基本的教育と識字率向上に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援、となっています。

世界には学校教育が受けられない子供たちが67百万人、読み書きができない15歳以上の人々が7.81億人以上います。世界の人口が73.5億人ですので10%を超える人々が読み書きができないこととなります。このテーマが重視される理由は以下の通りです。

・すべての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率は66%減少する。

・読み書きのできる母親を持つ子供は、そうでない母親の子供と比べ、5歳以上まで生き延びる確率が50%高い。

・低所得国で全生徒が読み書きを習得した場

合、1.71 億人が貧困から抜け出すことができる。これは全世界の貧困の 12%に相当する。

識字率 99.7%の日本にいるとなかなかピンとこないテーマですが、識字率が低い国や地域ではそのほとんどが貧困であり、紛争が起きていたりして教育どころではなく、日々の命を繋ぐだけで精一杯のところが多多く見受けられます。統計をみても識字率 60%未満の国は 21 カ国あり、そのほとんどが貧困層 50%以上の 22 カ国と重なっています。本テーマをもう少し詳しく知りたいかたは、以下のロータリーの URL をご参照頂けると良いと思います。

[https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/](https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/basic-education-and-literacy-project-strategies)

[basic-education-and-literacy-project-strategies](https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/basic-education-and-literacy-project-strategies)

■ニコニコ BOX(会員敬称略)

青木 邦弘／二宮さん、終戦卓話楽しみです。

北澤 正浩／①二宮さん、卓話宜しくお願い致します。②浦崎様、石井様ようこそいらっしゃいました。③次週は夜間移動例会です。お間違えのないようお願い致します。

二宮 登／「私と終戦」戦中、戦後の話をします。

市川 慎二／①二宮登会員の卓話、とても楽しみです。②石井様、浦崎様、いつもお世話になっております。

内田 敏／二宮登さん、本日の卓話宜しくお願いいたします。

関口 友宏／皆出席賞を頂き、ありがとうございます。これも生活態度が良いからだと思っております。

五十嵐 正／二宮登さんの卓話楽しみにしております。よろしく申し上げます。

鈴木 茂之／①みなさん、こんにちは。はっきりしない天気が続いていますので、体調にお気をつけ下さい。②二宮会員の卓話楽しみにしております。③皆出席をいただきまして、有難うございます。

佐藤 利明／二宮登さん、卓話楽しみにしています。

兵藤 哲夫／①妻の誕生日にお花が届きました。妻は感激していました。お心遣い有難う

ございました。②二宮さん、終戦の話を語れる人が少なくなりました。本日は大いに語って下さい。

岡田 清七／二宮会員、「私の終戦」振り返ってのお話、聞かせて頂きます。

佐藤 真吾／二宮登さん、卓話よろしくお願ひします。

福村 正／新川さん、8/20 左近山団地祭りにギターで飛び入り参加していただき有難うございました。後日、「あのギターのうまい人は誰？」という話になり、メタルー筋のロータリアンと答えておきました。今後とも宜しくお願い致します。

田川 富男／①二宮登さん、卓話よろしくお願い致します。②皆出席を頂きましてありがとうございます。

滝澤 亮／二宮登様、終戦記念卓話よろしくお願い致します。

吉原 則光／①二宮さんの卓話、終戦日を体験した自分には生涯忘れられない事です。掛け替えのない体験談を拝聴したいと思います。②今月号に愚作が載りましたのでニコニコにプラスアルファしておきました。

齋藤 善孝／二宮登さん、卓話楽しみです。

安藤 公一／①旭区福祉保健センター浦崎課長様、石井係長様、ご多忙の中ようこそお出でくださいました。よろしく申し上げます。②リオ五輪での日本選手の活躍に感謝。③二宮さん、卓話宜しくお願い致します。

二宮麻理子／皆出席お祝い、ありがとうございます。

■卓話 「私と終戦」

二宮 登

のどかな田園風景が続く横浜の郊外、第七大区二小区二俣川村 16 番屋に昭和 10 年 1 月 7 日に生まれた。通学は谷戸田や里山の小道から厚木街道に出て下川、本村、高地又口を通り、40 分かけて二俣川尋常高等小学校に集団登校した。戦争が激しくなると学校から遠い(現)今川、四季美台地区は本村神明



社の神楽殿で、午前、午後の二部授業が始まった。空襲警報のサイレンが鳴ると即座に防空壕に避難し、解除されると授業を再開するといった毎日でした。



自宅に落ちた焼夷弾の残骸

昭和20年になると(現)今川地区にも焼夷弾が投下され、三戸の農家が焼けた。帷子川で仲間と水遊びをしている時に終戦を知った。大声で「終わった終わった」と互いに水をかけ合って喜んだ記憶がある。家に帰ると母と姉がしょんぼりしていた。9月の二学期から二俣川小学校で授業が始まった。厚木街道は厚木飛行場に向かう軍用車両の行列が通る道で、道端でやりすごし登校した。私は毎朝出会う軍用者に興味を持ち始め、いつの日か軍用車で登校出来ないかと仲間と相談した。さっそく翌朝行列の最後の車両を止めた。手まね足まねで「スクールスクール」といって幌つきの車両に7~8人が乗り込み、私は運転席に乗り込んだ。学校が近くに見えると「スクールスクール」と言って「サンキューサンキュー、トモローモーニング」と言って握手して下車した。私達の希望であった軍用車両での通学が一年余りも続いた。ある朝運転席で米兵から一通のレターを受け取った。日本文で、私は帰国することになった。明日が最後の乗車です、と記されていた。私の身勝手な行動を理解し一年余り協力して下さったお礼として、日本人形をプレゼントした。私が生まれて初めて接触した外国人であり、今日の私の国際交流のスタートであったと思います。

ある日校門を出ると、一人の米兵が真っ白なパンに真っ赤なジャムをたっぷり付けてうまそうに食べていた。見つめているとジャムをぬったパンを二枚くれた。サンキューサンキューといって家に持ち帰った。粗末な夕食を前に家族で分け合って食べた。その時の味が今でも忘れられない。昭和21年になると、相鉄線の旧下川駅に、厚木飛行場に送る油送

管のポンプ場が出来、兵士が駐屯していた。土蔵からこっそりとひな人形を持ち出して「チョコレート」などと物々交換した事があった。

○父の戦死

戦地から帰って来る父を家族全員で待ち焦がれていたが、突然の公報で戦死を知らされ帰らぬ人となってしまった。

○生きるための農業

戦後の農地改革で、手元に残った保有農地も生きるために、なれぬ農業に母と兄弟6人の子供達で始めた。田植えや麦まき、収穫時期には人手を雇いました。当時は耕作面積に対して供出制度があり、収穫量が上がりず米、麦などを農地改革以前に私どもの農地を耕作していた農家に、母は衣類などを持って買い付けて責任をはたしていました。苦難な生活が続きました。

○絆深める架け橋に

昭和38年になるとバカチンマニラ市長一行が来浜し、岡市長から「姉妹都市」の希望が出されました。親交のあった渡辺はま子さんから「横浜のために働いて」と頼まれたこと、父親がフィリピンで戦死した事や、同国の英雄が横浜で亡命生活を送っていた歴史背景などもあり、姉妹都市横浜マニラ友好委員会設立の発起人となる。昭和40年7月姉妹都市提携、昭和41年8月友好委員会が設立した。



初めてマニラに行った時、フィリピン外務省の人達
左端:二宮 右から2番目:バカキン市長

○マラカニャン宮殿にマルコス大統領表敬

昭和41年2月全国の遺族有志の一員としてフィリピンを訪問した。目的は「マルコス大統領表敬」とルソン島北部の戦跡、姉妹都市

横浜マニラ友好委員会設立の文書等をマニラ市長、マニラ国際姉妹都市協会会長に伝達する事でした。遺骨も収集されず、異国の荒れはてた山野に眠る父の最後の地を訪ねるのが小さい頃からの夢だった。マニラ空港の土を踏みしめた瞬間「これが父の骨を埋めた土地だ」と体のふるえるような感激でした。

○プロゴルファー中村寅吉氏と出会う

駐日本大使館の一等書記官とマニラシティホールを訪ね文書を手渡した。夕方マニラホテルの広いロビーのソファで休んでいると丸顔のずんぐりした東洋人風の男が私をじろじろと見ていた。しばらくすると近くによって来て「おめー日本人か」と言った。「日本人です」と答えた。どこから何しに来たと尋ねた。横浜の保土ヶ谷区二俣川から「マルコス大統領表敬と北部ルソン島の戦跡をたずね、横浜市からマニラ市への文書を届けに来た」と言った。「おれ」も保土ヶ谷峰岡の住人だ。「おれ」を知っているか？ 昨年カナダカップで優勝したプロゴルファー中村寅吉氏であった。ホテルのバーに移動して懇談した。数日後「バギオ」のカントリークラブで夕食をプレゼントするから再会しようと言われ約束して別れた。

○北部ルソン島の戦跡をたずねる

バギオ市内のパインズホテルを宿として4～5日の日程でジャングルの戦跡をまわった。どこの戦場でもつい昨日終わったばかりのよう。残骸をさらす戦車や砲台のそばの草むらに、野ざらしとなっている遺骨と共に遺品が散乱していた。悲惨な現状で、涙が止まらなかった。

○中村寅吉氏との夕食

素晴らしいバギオカントリークラブで中村氏と食事が出来るなどは夢にも思わなかった。今日アジア大会の最終日だったんだよ。よく来てくれた。戦跡の現状をたずねられた。悲惨な現状を伝えると、中村氏は涙をにじませながら、なんとしてでも日本人として遺骨収集を実現したい。成功を願いワインで乾杯し、美味しい夕食をいただきながら「世界の

平和」について話し合った。横浜で再会を約束して宿に帰ってきた。宿に着くと駐日本大使館から明日夜21時にマラカニヤン宮殿で、待ちに待ったマルコス大統領との会見が可能と連絡があり、早朝車で8時間かかってマニラに着いた。

○大統領との会見

マラカニヤン宮殿内で5回のチェックがあり、日本から大事に持って来た日本人形がボバラバラにされ、無残な人形になってしまった。私は大使館員が引き止めるのを振り切って、戦跡で見た現状を大統領に「直訴」し遺骨収集と戦跡巡拝を実現することが出来た。

昭和41年10月市役所の一角で、遺品の一部と持ち帰った霊石、現地の生々しい写真を展示した。三日間の展示会に二千人余りの遺族の方が来場した。「息子の死んだ場所をひとめでも」と小田原から70歳の老女が駆けつけた。霊石を父の形見と思ってハダ身はなさずと言う遺児…



マカラニヤン宮殿で、アロヨ大統領と

○神奈川県議会に請願書を提出

私は展示会后、議会に比島の霊を慰める戦跡巡拝霊団の費用を請願し450万円の予算を組んでいただいた。都道府県が国外の戦跡に独自の慰霊団を送るのは初めてでした。昭和42年11月に40人の慰霊団を送ることが出来ました。ご協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

■次週の卓話

9/7(水) 社会奉仕フォーラム 二宮麻理子会員
週報担当 五十嵐 正